

### 第3回府中市生物多様性地域戦略検討協議会

日時 平成26年10月28日(火) 午後2時～4時

場所 府中駅北第2庁舎3階会議室

出席者：石坂、大澤、堅山、紺野、小池、佐藤、新島、野口、春山、松原、山田、吉川委員 12名

欠席者：野澤委員 1名

傍聴者：7名

事務局：角倉公園緑地課長、加藤環境政策課長、青木課長補佐、高橋自然保護係長、尾池

高橋係長の司会で進行

事務局より会議の公開について説明

傍聴人の入室の了承を得て傍聴人入室

ここからは吉川会長の司会で進行

#### 議題

##### 1 第2回府中市生物多様性地域戦略検討協議会議事録の開示について

事務局より第2回府中市生物多様性地域戦略検討協議会議事録の開示について説明

委員より議事録の修正依頼

##### 2 府中市生物多様性地域戦略(案)について

事務局より資料1について説明

<会長>表紙について意見等がありますか。

<委員>表紙の写真に植物が多いと思います。生物多様性は植物だけでなく、哺乳類などの動物の写真も載せてほしいと思います。また、食物連鎖についても図があればもう少しわかりやすいのではないのでしょうか。

<委員>浅間山の風景の写真は、周辺の住宅が入っているのでごちゃごちゃとしています。市の花であるウメや市の鳥のヒバリなどはよいと思います。ヒバリの写真はヒバリらしくないと思います。

<会長>生物多様性を意識させるような写真にすると良いと思います。

<事務局>写真は「種」、「生態系」、「遺伝子」の3つの多様性に関連させ、選びました。ムサシノキズゲは遺伝子によって花びらの形に違いがあるので、その例として載せています。

市の広報などから写真を集め使用しました。実際に活動している委員の皆さまがもし、より良い写真をお持ちであれば、提供していただけたらと思います。

<委員>表紙の写真を上を移動し、説明文と重ねてはどうでしょうか。

<委員>今まで生物多様性に慣れ親しんでいない人や子どもが手に取るようなものにしたいので哺乳類

の写真を入れると良いのではないのでしょうか。もう少し構図を考察していただきたいです。

<委員>表題の「ふちゅう」は親しみやすいように平仮名表記にしていると思いますが、何か意図はありますか。デザインの中での「ふちゅう」なら良いのではないかと思います。

<事務局>特別な意図があるわけではないので漢字表記にします。

<委員>小学校高学年が読んで理解できるような内容とのことなので、ふり仮名をつけると良いと思います。

<事務局>子ども向けというわけではありません。あくまでも生物多様性地域戦略という行政計画です。内容についてわからない点などは学校の先生につないでいただきたいと考えています。

<委員>地域戦略の配布先はどこを想定していますか。

<事務局>小学校などの教育機関や市民団体への配布等を考えています。

<会長>次に1頁についてご意見はありますか。

<委員>全体の構成に関わることですが、府中市の課題の部分が見えにくいのでグラフなどのデータを入れ、具体性を持たせてほしいと思います。

<委員>1頁の「生物多様性の4つの危機」は課題として使えるのではないのでしょうか。例えば「開発」により緑地が減少していることが課題に挙げられると思います。現状と課題を整理したほうが良いと思います。

<会長>府中市のみどりが減少していることがわかるデータ等を入れていただくと良いと思います。

<事務局>検討します。

<委員>外来種という言葉が突然出てくるので注釈が必要だと思います。

<委員>特定外来種についてアレチウリやオオキンケイギク等の具体的な名称があると市民にもわかりやすいと思います。

<委員>外来種についてももう少し詳しく示してほしいです。特定外来生物のオオキンケイギクは花が大きくきれいなので、知らない人は植えてしまいます。実際、学校や庭先に植えられています。そのような点にも着目し工夫してほしいです。

<会長>2頁についてご意見等がありますか。

<委員>2頁に方針が記載されているが唐突に感じます。現状、課題、方針という流れがわかりやすいと思います。

<会長>4つの危機と方針、取組が対応させると良い、課題を明確にすると良いという意見です。

<委員>4つの危機の「地球環境の変化による危機」について気温が上昇していることによって具体的にどんな影響があるか示すと良いと思います。

<会長>生物多様性国家戦略にある4つの危機をすべてについて記載する必要はないと思います。

<委員>「地球環境の変化による危機」の具体的な例としては、人為的な要因も関係しますが府中市でも南方系のチョウが見られるようになったことなどがあります。

<事務局>本地域戦略は「はじめの一步」として生物多様性を市民の方に広く浅く伝えていく5年間のためのものです。気温の上昇に関する影響の具体的な現象まで記載できると良いですが絞り込めないで、「気温の上昇」でとどめています。今後、チョウや鳥類、植物など具体的に記載できればと考えています。

<委員>「人間の自然への働きかけの減少による危機」では、浅間山が例に挙げられています。現在多くの方が活動し、環境が回復してきているが、今後荒廃してしまう印象を与えてしまうのではないのでしょうか。「私たちの暮らしと生き物との関わり」のイラストは、河川敷や堤防などを多摩川の風景に近づけると良いです。野外などの文字も不要であると思います。説明文の内容は表紙の文章と重複しているので、府中市には様々な自然環境があることを伝えると良いと思います。また府中に限定し強調しすぎているように感じます。

<会長>ここでは生物多様性は均一ではなく、その場所にしかない地域固有のものであるということを伝えています。

「私たちの暮らしと生きものとの関わり」と「私たちのいのちと暮らしを支える生物多様性」の2項目はまとめてもよいかもしれません。

<委員>なぜ生物多様性が大切なのかを現状から順序立てて示すと良いと思います。

<委員>2頁の方針の内容は取組に入れたほうが良いと思います。

<委員>2頁の方針、取組と5頁の「今後に向けて」の主体がわかりにくいと思います。

<会長>方針と取組を対応させてはどうでしょうか。方針2は内容を絞り込んでいるので、取組2と対応させましょう。2頁と7頁は行政としての府中市が進めていきます。4、5頁は様々な主体が現在行っている活動を紹介し、市民に参加してもらうきっかけとなるようにしています。

<委員>誰が主体となって何をするのかがわかりにくいと思います。4、5頁は市民目線で見ると、活動が充実しているので問題ないと感じてしまうのではないのでしょうか。府中の自然を紹介し、今後どのようにしていくか示すと良いです。2頁と4、5頁は主体が市と市民などで異なりますが、分ける必要はないと思います。2頁の方針は、もう少し丁寧に説明するべきだと思います。

<委員>「はじめの一步」なので現状の紹介ではなく、今後どうするのか、何を行うのかを中心に書くべきだと思います。

<委員>確認ですが、2頁は市が主体となって実施するもの、4、5頁は市も含めた様々な主体による取組ととらえて良いでしょうか。

<事務局>2頁は今後、市が実施するもの、4、5頁は様々な主体が行っている活動で、市はその支援、連携をより進めていくものを記載しています。

生物多様性地域戦略の対象地域は市全域ですが、4、5頁で示してある拠点は府中市緑の基本計画2009でも紹介しているので、地域戦略でも進めていきます。またそれぞれの拠点で市民の方が活動を進めているので、支援・連携をします。

前回の協議会でお見せした基本方針は固かったので、方針と取組を分けたところ、つながりがわかりにくくなった次第です。

<会長>2頁と4、5頁の内容は必ずしも一致しないとのことなので、読み手が混乱しない工夫が必要です。2頁の「目指すべき姿」の文中にある「まち」について、府中市は基本的に建物に囲まれた都市ですが、緑地や農地が存在することを表現しようと記載しました。

<事務局>2頁をまとめる際に、固くならないよう行政用語を省いたところ、市の取組と市民の取組がわかりにくくなりました。

- <委員>府中版レッドリストの作成は可能ですか。
- <事務局>今後作成するために生きものマップから進め、次の段階で府中市内の貴重な生きものを選定できればと考えています。作成に向けて、委員の皆さんのお力をお借りしながら進めていきたいと考えています。
- <委員>外来種の把握についても可能ですか。
- <事務局>植物については府中野鳥クラブが中心となりアレチウリの駆除や市としても公園緑地課や管理課が対応をしています。生きものマップと平行して、ハクビシンやアライグマの生息が確認されていますので、東京都と協力し、マップ化していきます。水準等は今後具体的に検討します。
- <委員>生きものマップとはどのようなものですか。
- <事務局>外来種や人体に影響のある生きもの、ハクビシン、アライグマ、スズメバチからはじめ、レッドリストの作成につながるものと考えています。
- <委員>生きものマップ等の作成の前に「生きもの情報の収集」を追加してほしいです。府中市では市民レベルでの調査が多く実施されているので、集約のシステムを作り既存のデータをまとめられると良いです。
- <会長>生きものマップやレッドリスト作成の前にまずは情報の収集と生物目録の作成を入れたほうが良いです。
- <委員>4, 5頁で紹介されている活動に参加していない市民団体の方もいるので、データをまとめる必要があります。また取組に農業に関することがないのではないのでしょうか。
- <事務局>農業に関することは2頁の取組2に「まちに点在する農地を守るとともに環境に配慮した農業の支援をします。」とあります。また、府中市としては府中市農業振興計画や第2次府中市環境計画でも触れられています。生物多様性としても重要ですが、個人の財産なのですべてを守れるわけではありません。目指すべき姿の「いきいき」につながるよう残していきたいと考えています。
- <会長>次に3, 6頁についてご意見はありますか。
- <委員>項目の文末の「します」と「しましょう」の使い分けはありますか。
- <事務局>「します」に統一します。
- <委員>緑化に関する項目がありますが、緑化は量とともに質も重要なので、在来種による植栽にも配慮するような記述を加えたほうが良いと思います。
- <委員>家などの場所ごとではなく、ステップごとにリスト化した方がわかりやすいのではないのでしょうか。各場所で同じような項目が重複して、読みにくくなっています。3頁と6頁が離れているのもわかりにくいです。またそれぞれを誰が行うのかもわかりにくいと思います。
- <委員>生物多様性の取組は一人ではできないことなので協働で行う必要があるということを2頁に入れてほしいです。
- <会長>4, 5頁の活動の紹介について各タイトルが公園名や主体名など統一されていないので、タイトルで主体がわかるように統一してほしいと思います。
- <委員>生物多様性の大切さを市民へ伝えるために市がそのサポートし、皆で連携することが重要なので、生物多様性の主流化を取組の一つに入れても良いのではないのでしょうか。

<委員>府中野鳥クラブは多磨霊園でも30年以上観察を続けてきたので、図に示してほしいです。緑の拠点と周辺の関係を示せると良いと思います。

<会長>3, 6頁について場所で分けるかステップで分けるか決めたいと思います。

<委員>農地についていくつかお伝えしたいことがあります。現在府中市では50年後も農地を残すことを目標に取り組まれており、農地を維持するのに厳しい状況にあります。2頁の取組2には“・・・環境に配慮した「持続可能」な農業の支援をします”と「持続可能」を追記していただませんか。

<委員>生物多様性の取組ということであるから「協働」について少し強調してほしいと思います。

<会長>もう一息ブラッシュアップしていただければと思います。テーマにある「はじめの一步」の歩幅が小さすぎるのではないかという気がしました。

## その他

### 1 パブリック・コメント手続きの実施等について

事務局よりパブリック・コメント手続きについて説明

募集期間：平成26年11月25日（火）～平成26年12月24日（水）まで（必着）

事務局より次回日程について報告

日時：平成27年1月13日（火）午後2時～4時

会場：府中駅北第2庁舎3階会議室